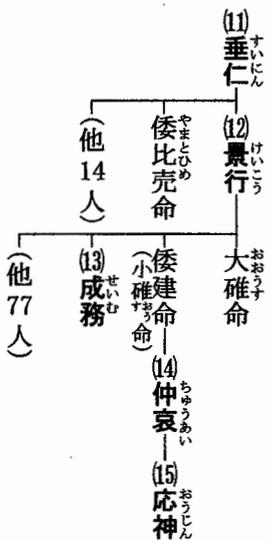


Aの現代語訳

そして、天皇は、また重ねて倭建命におっしゃったことには、「東の方にある十二の国の荒れずさぶ神と、服従しない者たちとを、説得して平定せよ」とおっしゃって、吉備臣らの祖先、名は御祖友耳建日子を従わせて遣わした時に、柵の木でできた大きな矛をお与えになった。こうして、命令を受けて下っていらっしゃった時に、伊勢大神宮に参って、その神宮を拜み、それからその叔母の倭比売命に申し上げたことには、「天皇が全く私なんか死んでしまえと思うのは、どうしてなのでしょう。西方の悪者どもを討ちに私を遣わして、都に帰って参ってから、まだいくらも時は経たないのに、兵士も下さらないで、今、重ねて東方の十二国の悪者どもの平定に私を遣わされたのです。これによって考えますと、やはり私なんか全く死んでしまえとお思いになっていらっしゃるのです」と、嘆き泣きながら退出した時に、倭比売命は、草なぎの剣をお授けになり、また、囊をお授けになって、「もし火急のことがあれば、この囊の口を解きなさい」とおっしゃった。

倭建命関係系図

ゴシック体は天皇になった人。
⑭⑮は天皇の代数。



景行記の構成

- ① 后妃と皇子女
 - ② 倭建命の西征
 - ③ 倭建命の東征
 - ④ 思国歌・白鳥の陵
 - ⑤ 倭建命の系譜
- A : : B : : C : :
D : : E : :
(角川ソフィア文庫『新版古事記』参照)

『日本書紀』では...

- ・ 日本武尊と書かれている。
- ・ 系図は『古事記』とほぼ一致する。
- ・ 兄を殺す話がない。したがって父に疎まれることもない。

このほかの配付資料

・ 『古典B 古文編』（筑摩書房 二〇一四年） 二三八〜二四二頁、奥付

※段ごとにA〜Eの記号を付した。

・ 『漫画家たちが描いた日本の歴史 古代・王朝絵巻』（金の星社、二〇一四年） 四六〜四八、五八、六〇〜八〇頁
※物語の概略がわかるように抜粋し、さらに右のA〜Eおよび景行記の構成①〜⑤との対応関係を示した。